

接続コースについて

工科高校では、四年制大学進学希望者に向けて接続コースを設定しています。藤井寺工科では、受験に必要な科目以外にも多くの時間（単位）を高大接続に割り当てています。ねらいは工科高校で工業分野が社会でどのような役割を果たしているかを知り、目標を持ったうえで大学に進学し、社会で活躍できるエンジニアを誕生させるためです。

2年次からのカリキュラムです

やっぱり工科の
魅力は資格取得

資格取得に取り組むと
実務のことがよく分かり優秀な
エンジニアに一步近づくと
藤井寺工科は考えています。
そこで本校では1年生から
さまざまな資格に挑戦出来る
環境を準備しました。

部活動も
がんばって
います

◆ 文化部
・美術部
・囲碁将棋部
・コンピュータ部
・軽音楽部
・写真部
・生産技術部
・生命科学部

◆ 運動部
・バレーボール部
・バスケットボール部
・ソフトテニス部
・硬式野球部
・サッカー部
・剣道部
・日本拳法部
・ゴルフ部

e-Sports 同好会発足
しました

	2 年次	3 年次
1	文学国語	文学国語
2		
3	数学Ⅱ	数学Ⅲ 政治経済 化学基礎 自動車工学
4		
5		
6		
7	地理総合	歴史総合
8	物理基礎	物理 論理国語 ハードウェア技術 電子技術 機械工作
9		
10	体育	体育
11		
12	保健	英語コミュニケーションⅡ
13		
14	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ
15		
16	家庭総合	数学 B 機械設計 英語演習Ⅱ プログラミング技術
17		
18	数学 A 英語演習Ⅱ 論理国語 機械設計 コンピュータシステム技術	製図 美術Ⅲ フードデザイン
19		
20	製図 美術Ⅱ 電気回路	電子機械 数学 C ライフ スポーツ
21		
22	実習	実習
23		
24		
25		
26		
27		
28	PBL_Research PBL_Laboratory	課題研究
29	PBL_Assembly PBL_Production	

※ 選択科目は6単位の工業専門科目を必ず選択します。



Fujitadera
TECHNOLOGY HIGH SCHOOL
— SCHOOL GUIDE —

1年生では基礎的な教科・科目を学習します。専門的な分野を学ぶ上で必要になる基礎を重視するためです。自分の進みたい進路や学びたい専門分野のために、じっくり考える1年でもあります。

1年生の時間割例

※ クラスにより時間割は異なります

	月	火	水	木	金
1	工業技術基礎 B	工業技術基礎 A	数学 I	現代の国語	工業情報数理
2	体育		言語文化	英語コミュニケーション I	科学と人間生活
3	美術 I		工業情報数理	工業技術基礎 B	言語文化
4			英語コミュニケーション I	保健	公共
5	数学 I	家庭総合	公共	体育	PBL ガイダンス
6	現代の国語	数学 I	科学と人間生活	家庭総合	LHR

基礎的な学習や資格取得を通して自分の進みたい専門学科を選択します。

↓

進学などを考える場合は接続コースを選択します。くわしくは裏面をご覧ください。

工科高校では 2 年から、専門性の高い科目を選ぶことができます。機械系、電気系、メカトロニクス系の 3 種類があり自分の進路を見据えて選択します。下の図は、2 年から学習する科目を比較できるような表になっています

2 年次 (機械技術)	3 年次 (機械技術)	2 年次 (電気技術)	3 年次 (電気技術)	2 年次 (制御システム工学)	3 年次 (制御システム工学)
文学国語	文学国語	文学国語	文学国語	文学国語	文学国語
数学2	数学2	数学2	数学2	数学2	数学2
地理総合	歴史総合	地理総合	歴史総合	地理総合	歴史総合
物理基礎	化学基礎	物理基礎	化学基礎	物理基礎	化学基礎
体育	体育	体育	体育	体育	体育
保健		保健		保健	
英語2	英語2	英語2	英語2	英語2	英語2
家庭総合	機械設計	家庭総合	電気回路	家庭総合	電子回路
機械設計	原動機	電気回路	電力技術	電気回路	プログラミング技術
機械工作／英語演習1	機械工作／英語演習2	電子技術／英語演習1		機械設計／英語演習1	機械設計／英語演習2
機械製図／美術2	機械製図／フードデザイン	電力技術	電気製図／フードデザイン	機械製図／美術2	機械製図／フードデザイン
実習	電子機械／ライフスポーツ	実習	電気機器／ライフスポーツ	実習	電子機械／ライフスポーツ
	実習		実習		実習
(学)探究	課題研究	(学)探究	課題研究	(学)探究	課題研究
LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR

探究とは？

PBL（Project Based Learning）は課題解決型学習といい、答えが複数ある課題を解決するために、仮説を立て、調査し、検証するということを繰り返すスタイルの学習です。この PBL を授業に活かすために、藤井寺工科では「課題に会う」ために独自に学校設定教科 探究を設定しました。よい課題にめぐりあうために、4つの出会いを用意しています。

3 年間の探究学習の流れ

PBL- ガイダンス【1 年次】

問題解決型学習の基礎を学び、課題に対して向かい合う準備を行います。ひとりで課題に出会うのか、友人と出会うのか、ひとりで解決するのか、ともだちと解決するのかを自分で判断し2 年生に活かせるようにする時間です。

↓

1. PBL-ASSEMBLY【2 年次】

個々で課題に対するアプローチを分担して、最終的には組み合わせて、ひとつの成果物にし検証を行う。そして、問題点に対する仮説を立てるサイクルを実行します。

2. PBL-RESEARCH【2 年次】

課題に対する問題点を全員で、調査する。他者との意見の違いを解決しながら学び、ひとつの成果に向かっていきます。

3. PBL-LABORATORY【2 年次】

課題に対し、個々で調査・検証・製作を繰り返し、3 年次の課題研究で取り組むべきテーマを決定します。

4. PBL-PRODUCTION【2 年次】

十分に検証されたものであっても、製作してみると改善点が見つかるものです。まずは全員で協力して実験的製作を行います。

↓

課題研究【3 年次】

高校生活の総仕上げとして、製作を行います。工業高校でしか作れないようなものを 3 年間、共に過ごした仲間と作ります。



※ 夏冬どちらも女子スラックス選択可能です。女子生徒もネクタイを選んでいただけます。

